

■＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 2017/11/21 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝■

◆◆ 建設トップランナー倶楽部 通信 91 号 ◆◆

■＝＝＝＝＝＝＝＝＝■

≪内 容≫

【今月の主なニュース】

- 【 1 】 建設トップランナー倶楽部幹事会が働き方改革などで国交省と意見交換
- 【 2 】 今後の発注行政 地域企業向け市場形成
- 【 3 】 所有者不明土地、北海道に近い約 7 2 0 万[㊦]
- 【 4 】 山村部の地籍調査 測量新技術で効率化
- 【 5 】 16 年度の直轄工事 落札率が再び上昇
- 【 6 】 3 次元データ 国交省が利活用方針

■催し情報■ 第 4 回低酸素社会推進会議シンポジウム

【 1 】 建設トップランナー倶楽部幹事会が働き方改革などで国交省と意見交換 建設トップランナー倶楽部幹事会（代表幹事・米田雅子慶応義塾大学特任教授）が 11 月 6 日、国土交通省幹部との意見交換会を同省内で開き、週休 2 日導入など働き方改革や、I C T による生産性向上などについて活発に意見交換をしました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01D7DK5mWCCH2U.asp>

【 2 】 今後の発注行政 地域企業向け市場形成 国土交通省の「今後の発注者のあり方に関する基本問題検討部会」は 11 月 10 日、今後の発注行政の方向性を示す中間とりまとめ方針案をまとめました。方針案では、直轄工事の企業評価を見直し、地域の建設企業向けに市場形成すると記載。全国やブロック単位を市場とする「全国・ブロック企業」と「地域の守り手」となる「地域企業」ごとに評価指標を設けるとともに、発注標準の工種区分・等級区分も見直すとししました。地域企業の市場確保につながる維持修繕などの工種に等級区分を設けることも検討していきます。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01D7DJgDQ2223S.asp>

【 3 】 所有者不明土地、北海道に近い約 7 2 0 万[㊦] 2 0 4 0 年時点での所有者不明土地は、北海道本島の面積にせまる約 7 2 0 万[㊦]に拡大し、経済的損失は約 6 兆円に上る。所有者不明土地問題研究会（座長、増田寛也・東京大学公共政策大学院客員教授）は 10 月 26 日、所有者不明土地の面積の将来推計と経済的損失の速報値を公表しました。16 年時点で存在している所有者不明土地の面積は約 4 1 0 万[㊦]、単年での経済的損失は約 1 8 0 0 億円になると推計。その上で、所有者不明土地は今後 40 年までの間に約 3 1 0 万[㊦]増加し、40 年単年の経済的損失は約 3 1 0 0 億円になると予測している。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01D6VJaZ0A3RHV.asp>

【 4 】 山村部の地籍調査 測量新技術で効率化

国土交通省は、測量新技術を活用して山村部（林地）の地籍調査を効率化します。山村部の地籍調査の進捗（しんちよく）率は 16 年度末時点で 45%と宅地（54%）、農用地（73%）に比べて遅れています。2 0 1 7 年度に山村部における空中写真測量やレーザー測量による新手法の実証実験を行った上で、新手法による地籍調査の 18 年度以降の試験導入を目指し、マニュアル案を作成します。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01D6@J9RVARZHV.asp>

=====

【 5 】16年度の直轄工事 落札率が再び上昇 2016年度に契約した直轄工事の落札率（単純平均）が92%となり、前年度と比べ0.78ポイント上昇したことが、国土交通省の調べで分かりました。直轄工事の落札率は15年度に5年ぶりに低下しましたが、再びの上昇です。16年度の契約件数は6.1%増、契約金額は18.1%増となり、1兆円を超える16年度2次補正予算の影響でいずれも増加しました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01D7EJ7QQA3MAV.asp>

=====

【 6 】3次元データ 国交省が利活用方針 国土交通省は、公共工事で3次元データの活用を拡大するため「3次元データ利活用方針」を決定しました。3次元データがICT建機による施工の自動化、施工計画・施工条件の確認などにより、建設現場の生産性を高める“エンジン”になるとして、測量・調査、設計、施工、維持管理の各段階で活用を徹底するとしています。現在の「電子納品保存管理システム」に蓄積されている既存インフラの2次元図面も3次元データに変換し、維持管理段階での活用を進めます。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01D7FJ8iRPK70L.asp>

=====

■催し情報■

第4回低炭素社会推進会議シンポジウム

「低炭素社会の実現に向けてストックをどう考えるべきか」

12月7日／低炭素社会推進会議

4年間にわたる低炭素社会推進会議の活動を報告します。そして『『つくる』から『つかう』へ～ストック社会を先導する利用の構想力～』をテーマに松村秀一氏（東京大学）が基調講演を行います。さらに「低炭素化を進めるストック社会をどうつくるか」をテーマにパネルディスカッションが行われます。会場は建築会館ホール（東京都港区）。時間は午後1時～5時30分。参加費は会議構成団体会員2000円、会員外3000円、学生1000円。申し込みは建築学会ホームページ

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=612072>

=====

ご連絡や問い合わせは

info@kentop.org

* 配信停止を希望される方、アドレス変更は、当メールへの返信でお知らせ下さい

建設トプランナー倶楽部 事務局 大里茂登子、中川寛子

mail: info@kentop.org

<http://www.kentop.org/>

〒113-00023

東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ 2階

米田事務所

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463
